

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名：（１）工事コストの低減 【 】計画手法の見直し 】

新幹線と在来線連立事業との同時施工により、新幹線が一層構造となることによる工事費の縮減

事業名：鉄道事業

概要：（従来）在来線と立体交差する道路を越えるため高架橋の高さが高くなる。（２層構造）

（新）同時施工により道路の地平化が可能となり、新幹線の高架橋の高さが低くなる。（１層構造）

効果

新幹線との連立事業の同時施工により、地域への環境負荷（騒音、振動、日照、景観等）を軽減できる。

新幹線単独の場合、在来線と立体交差している３本の道路橋を越えるため連続して高架橋が高くなる。（２層構造）

連立事業との同時施工により、道路の地平化に要する費用が双方で負担し合えることで、双方の高架橋の高さを低くすることが可能となり、工費の縮減が可能となる。（１層構造）

工事費を216.2億円から176.0億円に減額（縮減額 40.2億円 縮減率 約19%）

